



平成30年度 岐阜薬科大学

第35回 市民公開講座

～健康と食とくすり～

健康で長生きすることは万人の願いです。本講座では、健康に暮らすために気をつけることや、くすりの飲み方、薬草などについてもお話しします。

日程(全5回)	テーマ	講師 (岐阜薬科大学教員)	会場
9月29日(土)	ヒトと微生物の一万年戦争	感染制御学研究室 准教授 腰塚 哲朗	岐阜薬科大学 三田洞キャンパス
10月 6日(土)	伊吹山に薬草が多いのはなぜか	名誉教授 田中 俊弘	みんなの森ぎふ メディアコスモス
10月13日(土)	くすり、その飲み方で大丈夫？ ～飲んだ薬は体の中で どうなるか～	薬物動態学研究室 助教 曾田 翠	岐阜薬科大学 三田洞キャンパス
10月20日(土)	食の安全性を考える	衛生学研究室 教授 中西 剛	岐阜薬科大学 三田洞キャンパス
10月27日(土)	「健康に暮らす」に寄り添う	地域医療薬学寄附講座 寄附講座・特任教授 小原 道子	岐阜薬科大学 三田洞キャンパス

時間：13:30～15:30

定員：100人（先着順）

締切：9月14日（金）必着

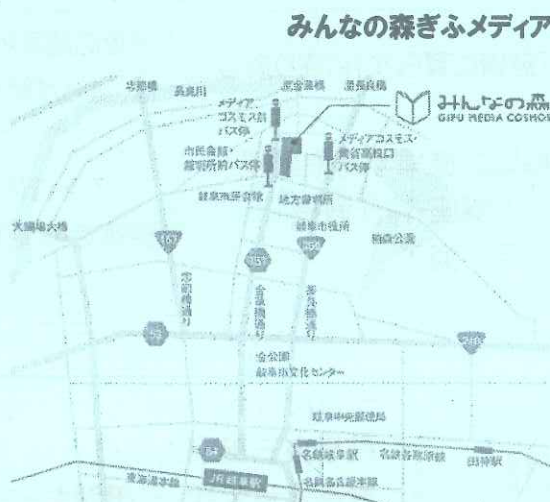
受講料：全5回分で2,500円

（受講通知書と一緒に納付書を送付予定。欠席しても返金不可。）

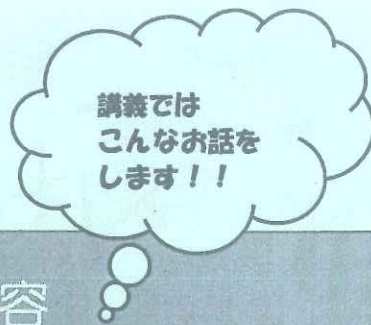
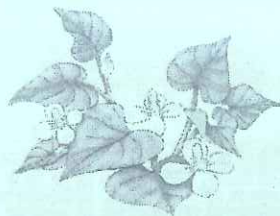
●生涯学習「長良川大学」リカレント講座です
「長良川大学」の単位が取得できません。
「まなびすと手帳」をお持ちの方はご持参ください。


申込方法

ハガキまたはFAXで、郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号を記入して、下記（裏面）へお申し込みください。



主催／岐阜薬科大学



日程 (全5回)	テーマ・講師	内 容
9月29日 (土)	ヒトと微生物の一万年戦争 感染制御学研究室 准教授 腰塚 哲朗	近年、新型インフルエンザウイルスやO157といった感染症の問題が大きく取り上げられることが増えました。しかし、私たちはずっと昔からいろいろな微生物と激闘を繰り広げています。この戦いはいずれが勝利するのか？感染症が人類の歴史に与えた影響を踏まえながら、治療薬やワクチンについてもお話します。
10月6日 (土)	伊吹山に薬草が多いのはなぜか 名誉教授 田中 俊弘 	本学の前身が薬学専門学校になったのは、伊吹山に近いということであったといわれる。何ゆえ、伊吹山には薬草が多いといわれ、「薬草と言えは伊吹山」と言われるのかという単純な疑問を持ち続けていた。情報を総合してこの疑問に迫ることにします。気象、地理的条件、植物地理学的考察に加え、歴史に残る資料から薬草採取、栽培、医薬品や食品開発の記録と、それらを開発する社会的風土を考察する。
10月13日 (土)	くすり、その飲み方で大丈夫？ ～飲んだ薬は体の中で どうなるか～ 薬物動態学研究室 助教 曾田 翠	みなさんはどのようにくすりを飲んで、いますか？くすりを正しく使用しなければ期待した効果を得ることができなくなってしまうだけでなく、不快な症状(副作用)を招くことがあります。そこで今回の講座では、くすりやどのように体の中に入って効果を発揮し、体の中から出ていくのかについてお話します。また、くすりや食品・サプリメントなどとの飲み合わせについても紹介します。
10月20日 (土)	食の安全性を考える 衛生学研究室 教授 中西 剛	食は私たちが生きていく上で欠かすことができないものであり、またその安全性の確保は私たちの健康に必要な不可欠なものであります。一方で、食の安全性が問われる事件を耳にする機会もありますが、我々が摂取する食品には様々なリスクが存在するのも事実です。ここでは食品に様々なリスクを紹介するとともに、我々自身がどのように食の安全性を確保していくべきなのかを考えてみたいと思います。
10月27日 (土)	「健康に暮らす」に寄り添う 地域医療薬学寄附講座 寄附講座・特任教授 小原 道子	今後の超高齢社会を心も体も健康的に過ごすことができるということは、誰もが願うことです。そして病院から在宅へ、医療支援から生活支援や食支援へなど、住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域づくりを進めていくことは、地域の健康を支える職種にとっても大きな課題です。地域住民の健康維持に寄り添い、快適な生活を送れるように工夫している様々な事例や最近の話題を判りやすくご紹介します。



申し込み・問い合わせ先
 〒502-8585
 岐阜市三田洞東 5-6-1 TEL058-237-3931 FAX:058-236-0004
 岐阜薬科大学 三田洞キャンパス 教務厚生課